

MVP*Development

最小価値が検証できるプロダクトをつくり
早期にユーザーに届けることで
事業の可能性を検証する

Agenda

1.	Sun*が支援するMVP	3
2.	MVP*Development	9
3.	支援内容の具体例	16
4.	ユースケースごとの活用例	24
5.	開発事例	28
6.	会社紹介	32

1. Sun*が支援するMVP

MVP(Minimum Viable Product)の定義

MVP(Minimum Viable Product)とは？

「プロダクトとしての最小価値が検証できる動作可能なプロダクト」と定義

MVPの検証の目的とゴール

1stリリースを前提としたプロダクトを活用し、Product Market Fit(PMF)の検証を行うこと

製品版もしくはβ版のサービス・プロダクトとして市場にリリース。

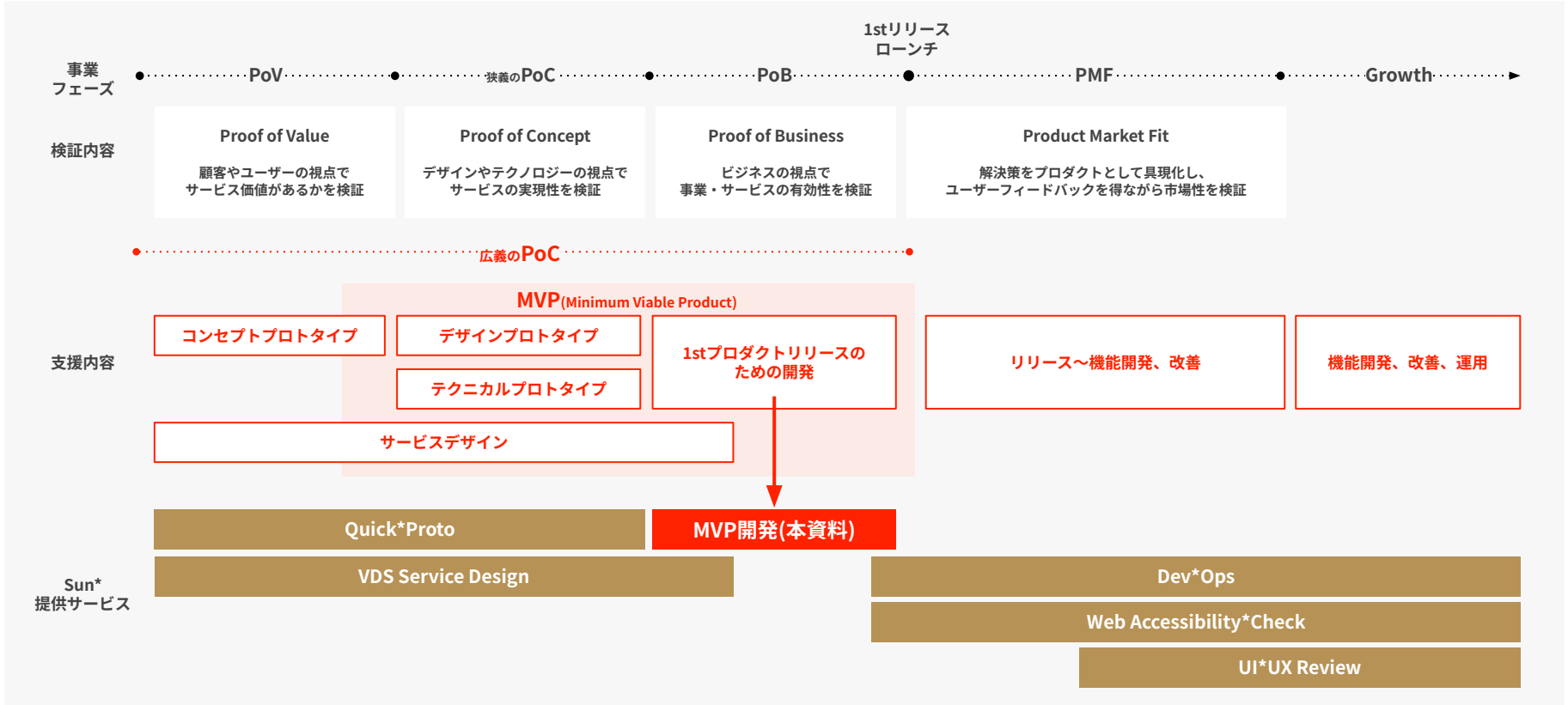
プロダクトの運用を通じて提供価値・手段・仕組み・各種戦略の改善点が発見されるため、続けてアップデートすることで
プロダクト・サービスを市場に対して最適化していきます。そうすることで、獲得できる収益や便益を最大化することを目的とします。

主な検証内容

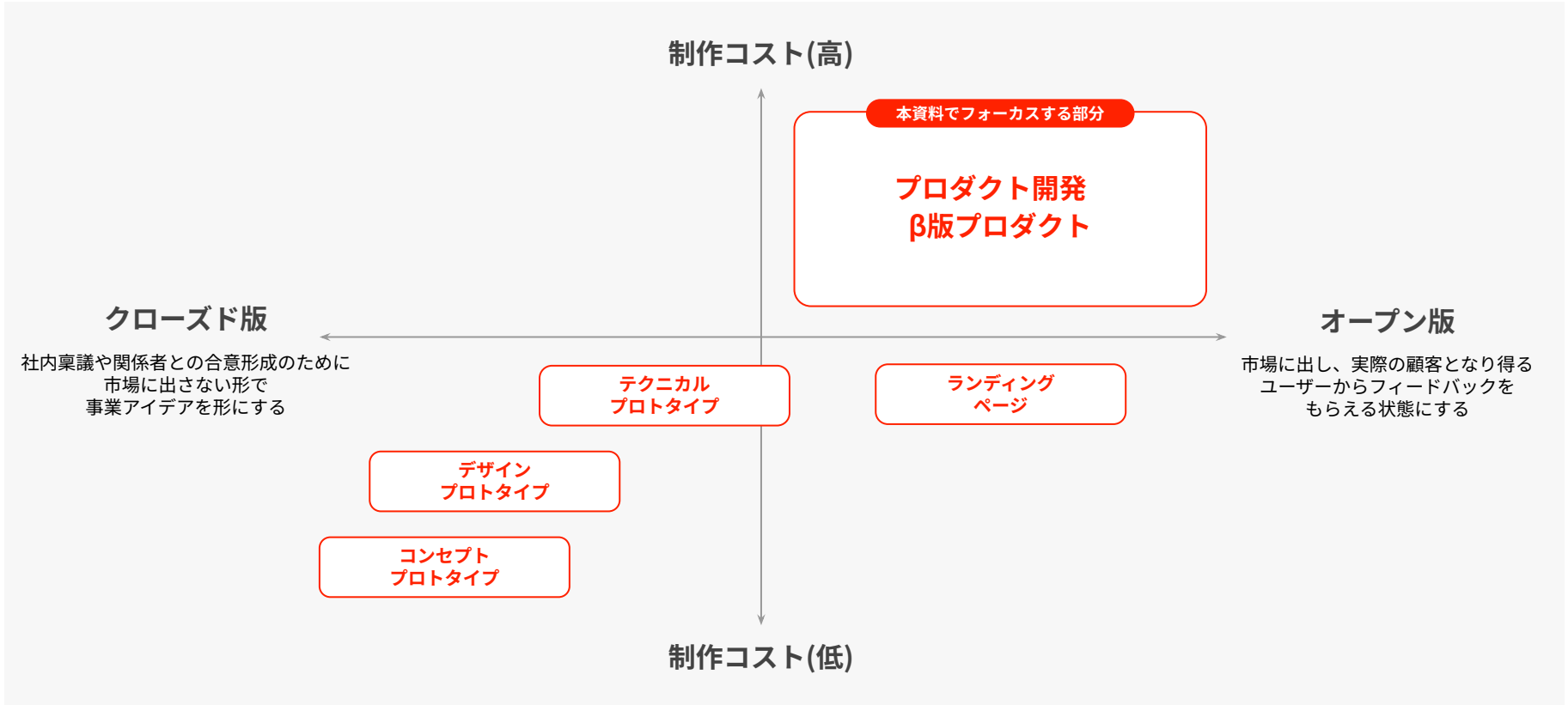
提供する体験・仮説に実際価値があるかどうかを検証（価値検証）

MVPが市場でどのように成長するか、拡大可能かどうかを検証（成長検証）

事業フェーズにおけるMVP開発の立ち位置



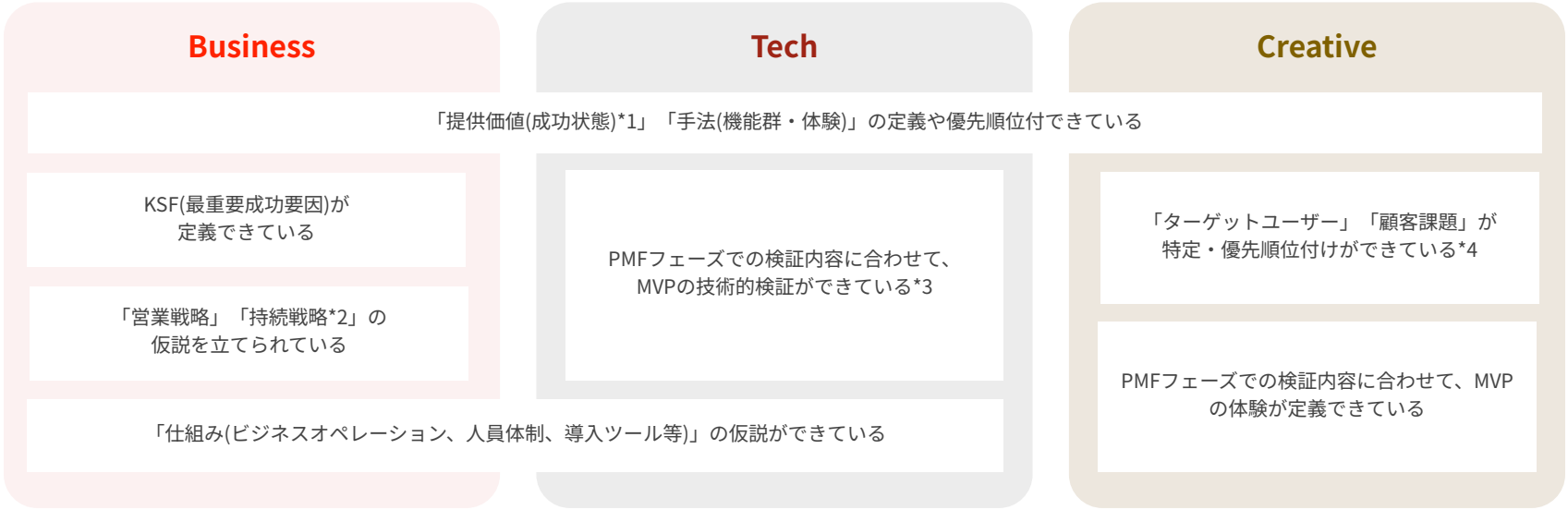
MVPで制作・開発する対象



MVP開発へ着手できる前提条件

PoC(Proof of Concept)フェーズで事業アイデアの受容性を検証した後、MVPフェーズで事業性をあげた上でMVP開発につなげるために、BTCそれぞれの観点でMVPの定義をおこないます。

BTC観点でみる、MVP開発が可能となる状態の一例

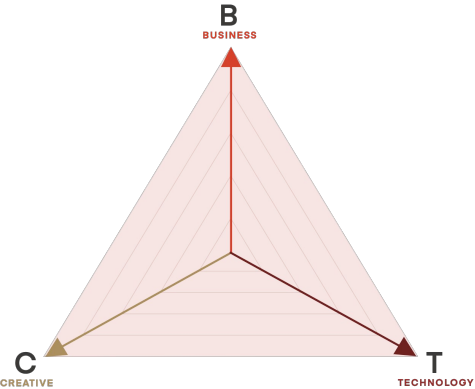


*1: 誰に対して提供するサービスなのか、価値提供した対価が返ってくる状態定義が明文化されていること
*2: マネタイズの仕組みを設計 または 事業が存続できる道筋のこと
*3: 特にサービスのコア体験が機能に依存する場合(xR, GPS, 撮影機能, 3D, OCR(Optical Character Recognition/Reader) など)、機能要件の実現可能性を確認する
*4: サービスを利用・購買する意欲のある人物像が明文化されていること。さらに、その人物のどの課題・ニーズに対して価値提供をおこなうのか、定義されていること。

BTCの足りない要素を重点的に支援

MVP開発を進める中でTech以外の観点で検討が必要と判断した場合でも、Sun*ではBusiness・Creativeとも連携しながら、事業状況にあわせて最適な体制で事業推進を共に進めます。

新規事業開発において、BTCのバランスが取れていることが理想

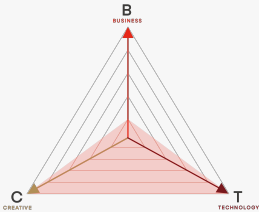


足りない要素を
Sun*が補完

Business視点が足りない

具体的な顧客と提供価値は見えているが、その市場性／競合優位性が見えておらず、戦略が曖昧

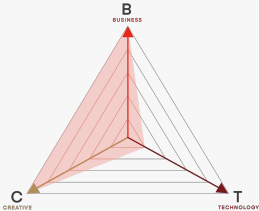
必要なこと
事業戦略構築アプローチ



Technology視点が足りない

提供価値に対して、強みとなる技術や技術の検証ができていない

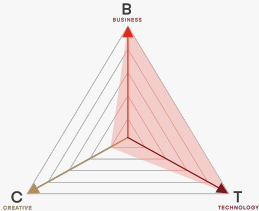
必要なこと
技術的アプローチ



Creative視点視点が足りない

ターゲットユーザー像や提供価値、体験設計が曖昧

必要なこと
顧客理解と価値の具体化アプローチ



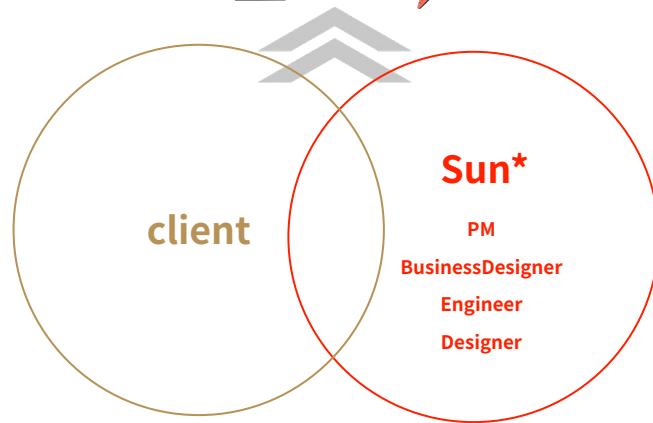
2. MVP*Development

MVP*Development

開発を推進するチームを提供し、
サービスの最小価値が検証できるプロダクトを
早期にユーザーに届け、検証を進める

変化の激しい社会の中で、ユーザーが本質的に求めている価値を提供するには、サービスへの直接的なフィードバックを受け取り、日々プロダクトをアップデートしていくことが重要視されています。

Sun*はクライアントと共に、
ビジネス、テック、クリエイティブそれぞれの観点からMVP開発を支援し、
高い技術と品質力でサービスを早期にユーザーに届けるご支援を行います。



MVP開発における悩み



AS-IS

MVPをどのように定義し、
検証するのかわからない

機能要件を満たした
実装をしてくれるベンダーが
見つからない

開発予算を抑えたいが、
その中で必要な機能を
開発できるか不安

開発人材が足りず、
開発スケジュールに
間に合うかわからない



TO-BE

Sun*ではビジネス、テック、
クリエイティブの専門家が
いるため、それぞれの視点から
事業に合わせたMVPの定義、
開発、検証のサイクルをご支援
します。

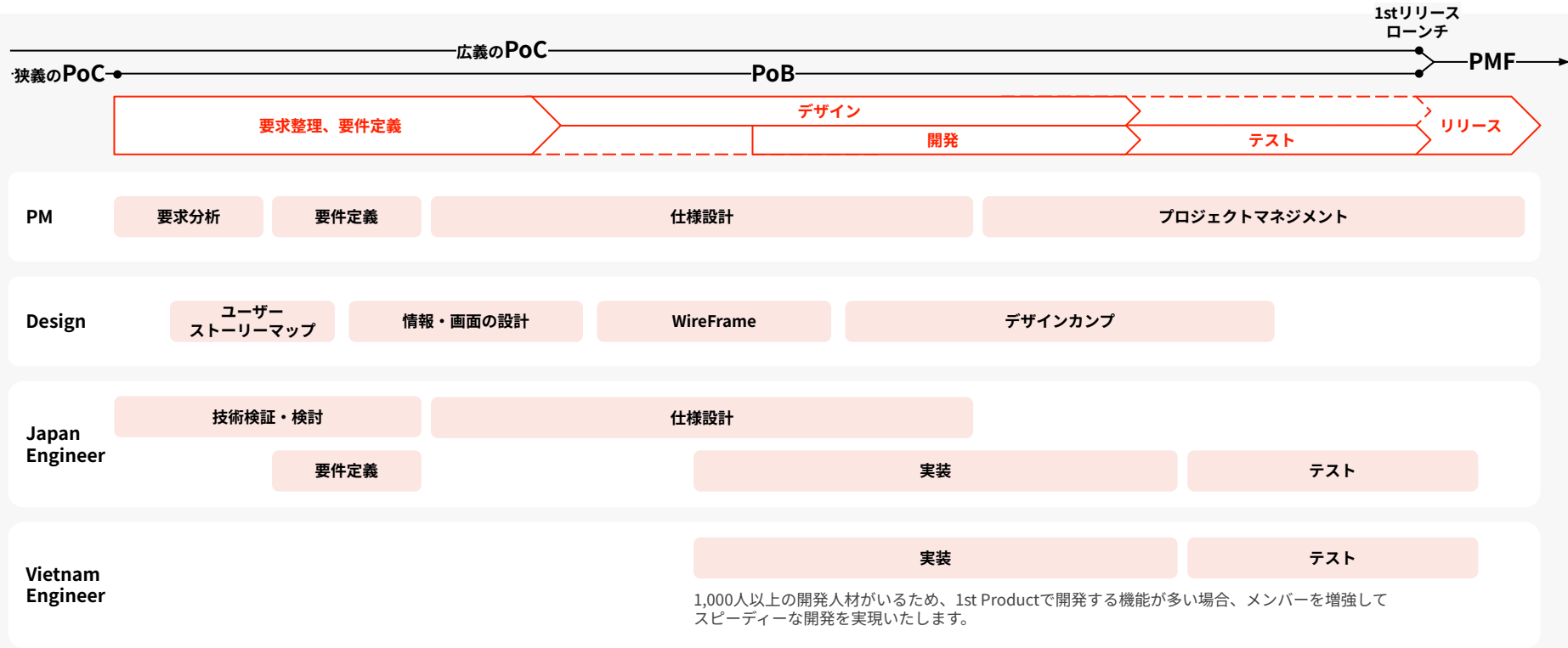
創業以来、日本国内のスタート
アップの0→1開発を中心に、
業界・事業規模を問わず数多く
の価値創造に伴走。社会や事業
変化に素早く対応しながら、高
い技術力と品質で開発します。

サービスの最小価値を検証
できる機能から開発着手するた
め、開発に費やす費用と時間を
最小限に抑えることができます。

Sun*には開発に関わる人材だ
けで1,200人以上が在籍してい
ます。MVP開発を進めるために
必要な人材でチームを作り、共
に開発を推進します。

MVP開発のための、柔軟な体制の提供

クライアント側の体制や実装要件によって、体制を柔軟に組み、MVP開発を行います。



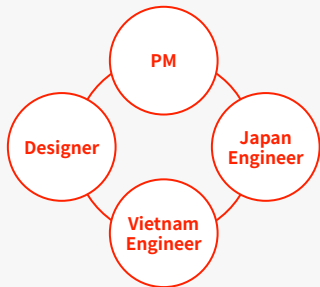
貴社のチーム状況に合わせてチーム体制をカスタマイズ

ケース1

貴社の状況

- 開発するプロダクトの要求整理・要件定義がある程度決まっている
- 開発体制を強化し、スピード感をもって進めたい
- MVPの機能要件が多い

開発体制を強化し、アジャイルに開発を推進。



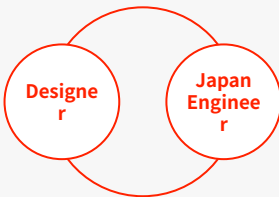
体制例：PM, Designer, Engineer(Japan), Engineer(Vietnam)

ケース2

貴社の状況

- 社内にビジネス側の人材はあるが、形にしていけるデザイナー・エンジニアがいない
- 技術検証やユーザービリティ検証も進めていきたい

技術・ユーザービリティ観点で要件整理を行いつつ、開発に繋げる。



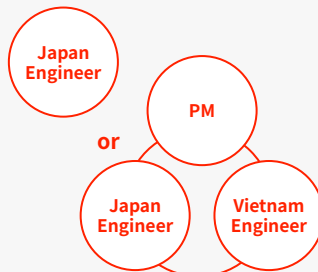
体制例：Designer, Engineer(Japan)

ケース3

貴社の状況

- 技術選定や機能要件等、開発に関するリサーチや方針の提案からお願いしたい
- 開発体制を強化し、スピード感をもって進めたい

開発における曖昧な点をクリアにし、アジャイルに開発を推進。



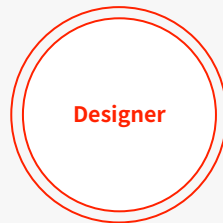
体制例：PM, Engineer(Japan), Engineer(Vietnam)

ケース4

貴社の状況

- 理想とする体験のイメージやワイヤーフレームはあるが、画面デザインに落とし込める人材がいない
- 社内にエンジニアはある

プロダクト内の体験設計、画面デザインを形にし、開発に接続する。



体制例：Designer

Sun*の特徴

事業フェーズや開発状況により 必要な人材を柔軟にアサイン可能



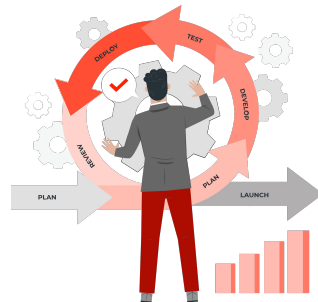
Sun*にはビジネスデザイナー、エンジニア、デザイナー等、多様なスキル・経験値を持ったメンバーが在籍しています。貴社の事業成長をドライブするメンバーでチームをつくり、社会や事業の変化に素早く対応しながら、高い技術力と品質で開発支援を行うことができます。

アジャイルを取り入れた 開発プロセス



日本国内スタートアップの0→1開発を中心に、業界・規模を問わず数多くの価値創造に伴走してきたSun*。その為、機能単位で小さく迅速な開発を繰り返し、ユーザーからのフィードバックやニーズを取り入れつつアップデートを繰り返す、アジャイル開発を行います。それにより、柔軟性・効率性を求めながらも確実な品質担保を可能にしています。

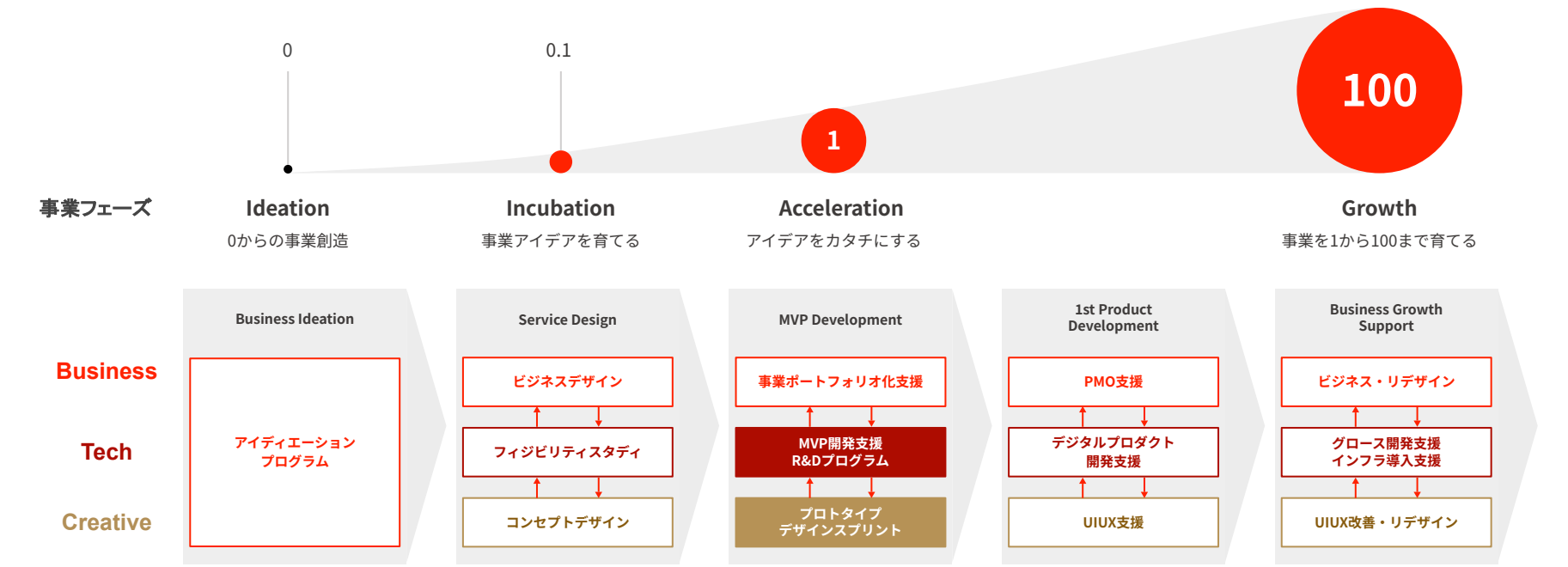
PMF～Growthまで プロダクトの成長を支援



MVP開発はリリースすることが目的ではありません。リリースしたサービスがユーザーやマーケットに対して価値提供を行えているのか、検証とサービスアップデートを繰り返す必要があります。Sun*はビジネス・デザイン・エンジニアリングの視点からPMF～Growthまで一貫して伴走し、プロダクトの成長を支援します。

BTCが連携して事業を次のフェーズにつなげる

MVPフェーズでのプロダクト開発支援から支援がはじまったケースでも、変化の激しい事業状況に対して Business、Tech、Creativeが連携しながら事業のフェーズにあわせて最適な体制で事業推進を共に進めます。

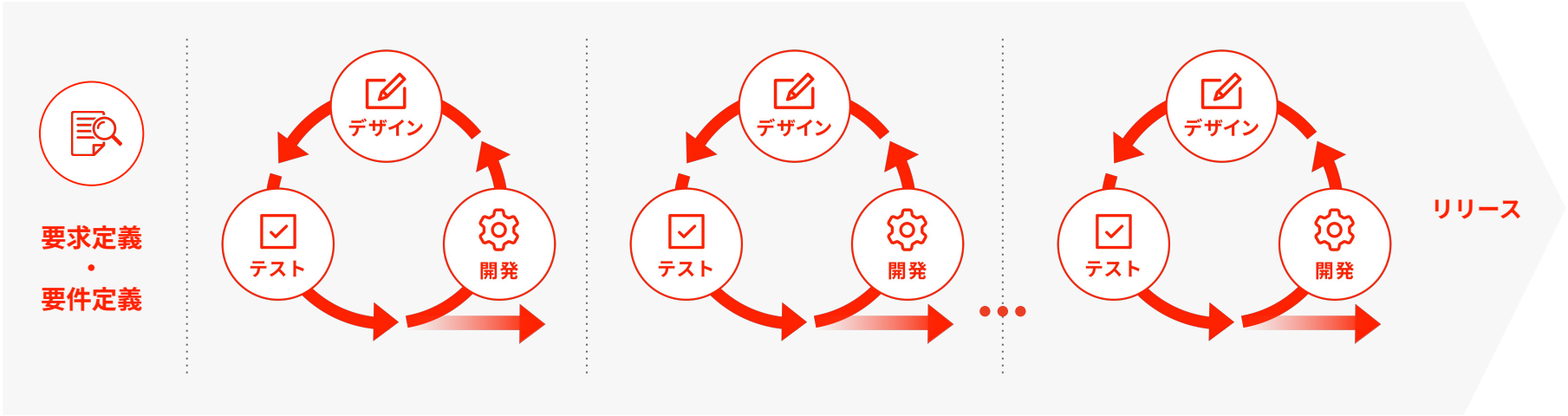


3. 支援内容の具体例

MVP開発ワークフロー

要求定義・要件定義の内容から、リリースに向けたプロダクト開発をアジャイルの思想を基本にしながら進めていきます。

MVP開発ワークフロー





要求定義・要件定義

MVPが解決しようとする問題や達成しようとするビジネス目標をクライアントとSun*双方で共通認識をつくり、サービスを通じてユーザーに提供したい価値や機能要件を明確にします。

実施内容とアウトプット例

目的・ゴール・ 検証内容の設定

サービスで解決したい課題やゴールを洗い出したうえで、MVPを通して検証・評価する仮説を整理します。

アウトプット

- ・要件定義書
- ・KSFの策定 など

MVPコンセプトの作成

事業構想における価値・手法の中からMVPとして開発すべき価値・体験が特定できているか整理します。

アウトプット

- ・要件定義書

ユーザー要求の 整理

MVPコンセプトにおける顧客体験及び業務の流れが定義できているか確認します。

アウトプット

- ・ナラティブフロー
- ・ユーザーストーリー
- ・ユーザーストーリーマッピング
など

必要最低限の 機能の策定

目的・ゴールを達成するためにMVP開発で対応する必要最低限な機能・非機能要件を絞り込みます。

アウトプット

- ・要件定義書

※貴社の事業状況に応じて、実行すべき内容が変動します



デザイン

要求・要件定義に対する適合性を、ワイヤーフレームの作成やモックアップの作成を通じて確認します。またエンジニアと協力しながら、インタラクションや機能要件の詳細部分もデザインに落とし込みます。

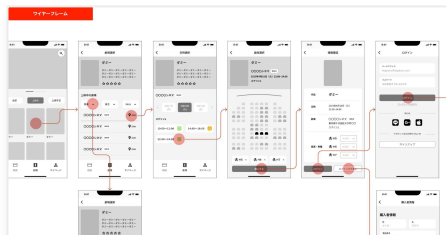
実施内容とアウトプット例

情報・画面の設計

ユーザーが必要な情報に迅速かつ簡単にアクセスできるよう、画面に表示する情報を設計します。

アウトプット

- ・ユーザーフロー図（画面遷移図）
- ・画面一覧
- ・機能一覧



画面デザインの作成

プロダクトの使いやすさや機能の実現可能性を考えながら、UI/UXを設計・作成します。

アウトプット

- ・デザインカッパ

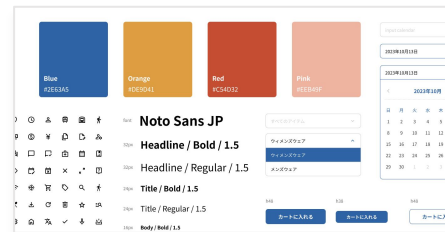


サービスブランドの構築

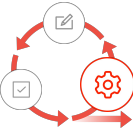
デザインの一貫性を図り、ブランドの信頼性を高めるために、デザインのルールを策定します。

アウトプット

- ・デザインガイドライン



※貴社の事業状況に応じて、実行すべき内容が変動します



開発

要求・要件定義の内容やデザインデータを元に、定義した必要最低限の機能が実装されているサービスの開発を行います。

実施内容とアウトプット例

ユーザーストーリーを機能要件レベルまで精緻化

技術的実現性の観点からユーザーストーリーを評価し、機能要件レベルにまで落とし込みます。

アウトプット

- ・システム機能一覧
- ・業務フロー図
- ・画面遷移図

開発プロセスの設計

開発の型や、クライアントとのレビュータイミング、定例、QAを行うタイミング等、開発プロセスを設計します。

アウトプット

- ・開発フロー図
- ・役割一覧 など

開発スケジュールの作成

ユーザーストーリーや機能要件から、開発にかかる工数を見積もり、開発スケジュールを作成します。

アウトプット

- ・WBS など

アーキテクチャーの設計

システムコンポーネンやデータモデル、インフラ、セキュリティ、パフォーマンスなど、システム全体の方針を決めます。

アウトプット

- ・システム構成図 など

機能実装

機能単位で小さくすばやく開発を繰り返し、ユーザーからのフィードバックやニーズを取り入れながらアップデートを繰り返します。

アウトプット

- ・ソースコード
- ・データベーススキーマ
- ・システム機能一覧
- ・テストケース など

※貴社の事業状況に応じて、実行すべき内容が変動します



テスト

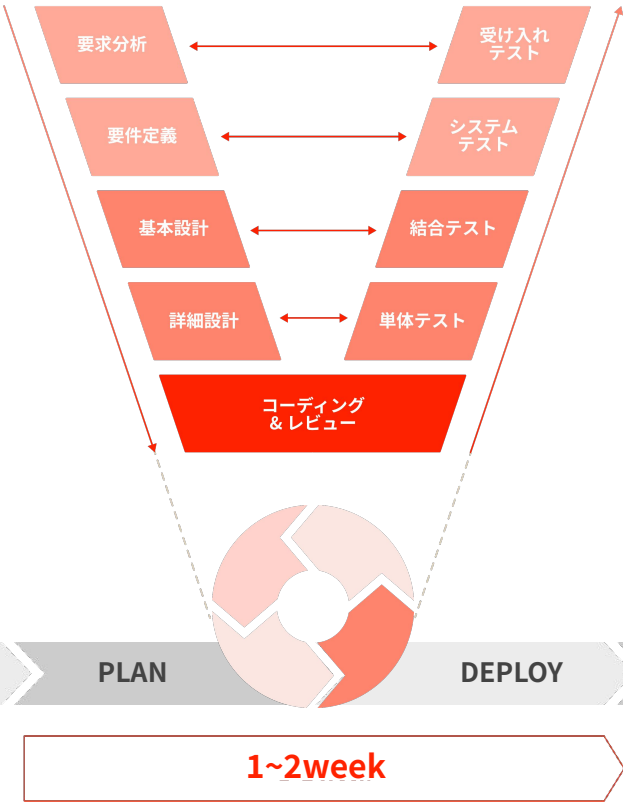
アジャイル思想と基本とした開発

Sun*では機能単位で小さくすばやく開発を繰り返し、ユーザーからのフィードバックやニーズを取り入れながらアップデートを繰り返す、アジャイルの思想を基本としています。

そのため1つの開発サイクルでは、開発工程とテスト工程で各作業をリンクさせ、検証作業を効率よく実施するV字モデルをメインで採用しています。

それにより、柔軟性・効率性を求めながらも確実な品質担保を可能にしています。

※開発プロセスにより、テストプロセスや重点的に行うテスト内容が変動します

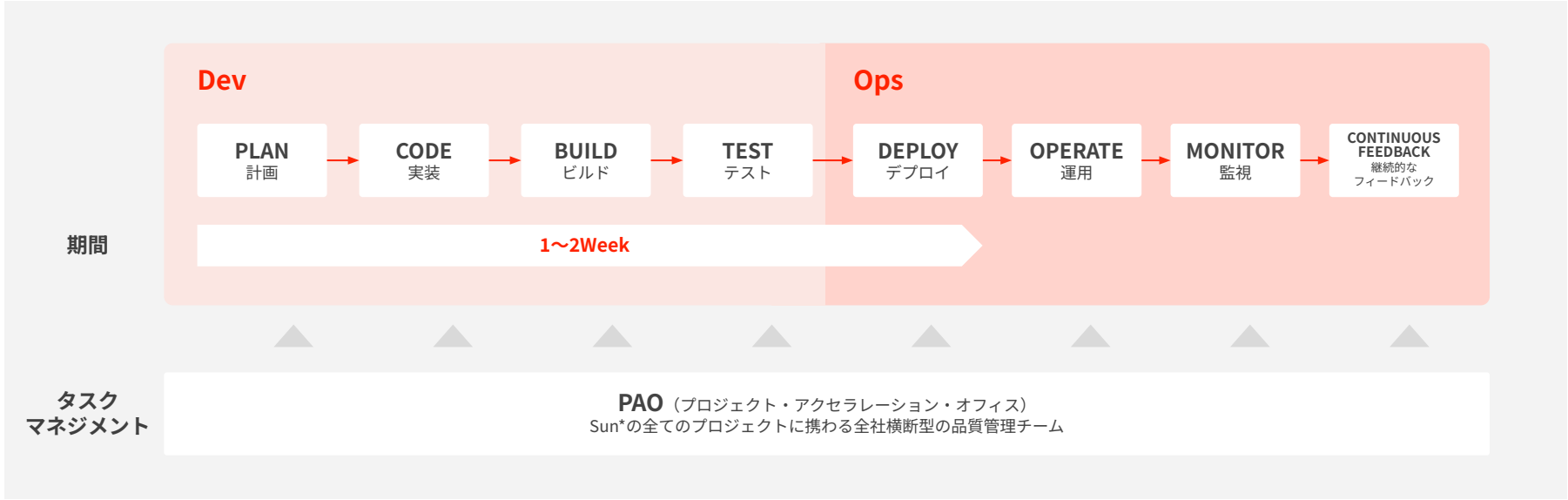




テスト (ベトナムチームと開発を進める場合)

品質管理チーム(PAO)によるDevOpsの持続的な開発品質の改善と向上

Sun*にはすべてのプロジェクトに横断的に関わり、DevOpsにおける「プロダクト品質」「DevOpsプロセス品質」「サービス品質」に対して、包括的にプロセスの整備、評価の整理、人材の教育を行っている品質管理チーム（PAO: プロジェクト・アクセラレーション・オフィス）を設置しています。





テスト (ベトナムチームと開発を進める場合)

品質管理チーム(PAO)によるDevOpsの持続的な開発品質の改善と向上

DevOpsの持続的な開発品質の改善と向上のために、品質管理チーム(PAO)は以下の取り組みを行っています。



インシデントを未然に 防ぐモニタリング

全社共通の管理シートで全てのプロジェクトを監視。バグの発生数に応じて即時検証を行い、インシデントを未然に防ぎます。



開発品質に関する カスタマーサーベイ

開発の品質やオペレーションについて、クライアントに年2回の匿名サーベイを実施。結果を基に業務フロー等を改善しています。



品質均一化のための テンプレート作成

プロジェクトキックオフ用の資料や機能のアップデート内容を記載するリリースノートをテンプレート化。プロジェクト品質を均一化します。



開発品質維持のための 社内教育

実際の開発や業務で必要となるナレッジを社内で蓄積。恒久的な開発品質維持のため、社内教育を徹底しています。

PAO (プロジェクト・アクセラレーション・オフィス)

Sun*のすべてのプロジェクトに横断的に関わり、グローバル開発におけるコミュニケーションや品質の課題に対して、包括的にプロセスの整備、評価の整理、人材の教育を行っているチーム

4. ユースケースごとの活用例

①デザイン + エンジニアリング(ベトナムチームを入れて推進)

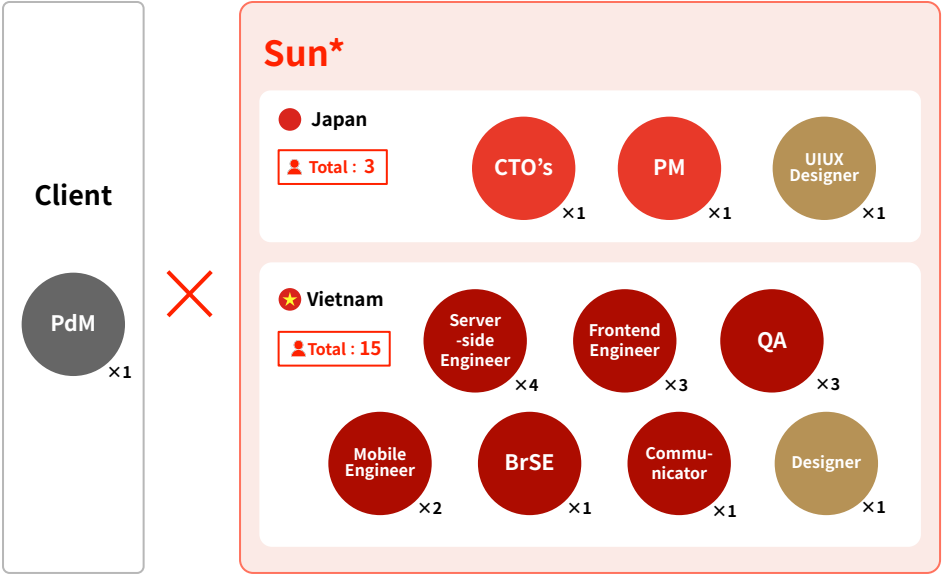
プロジェクト概要

フィットネスやパーソナルトレーニングをオンラインで提供する、法人向けの福利厚生サービスのアプリ開発。
事業の仮説・検証、事業計画の設計、ビジネススキームの構築フェーズからご支援。事業アイデアを形にし、MVP開発に至るまで共創。機能要件が多いことから、日本とベトナムのエンジニアでチームを作りMVP開発を推進。

取り組んだ内容と期間

1~3ヶ月目	4~10ヶ月目
プロダクトイメージの作成	MVP開発
- ワイヤーフレームの作成 - サービスのデザインコンセプト、ガイドライン作成 - デザインカンパ作成 - エンジニアによる実現可能性評価 - 機能要件の整理 など	- β版の開発 - β版リリース後、機能検証 - 仕様に合わせてデザイン調整

実際の開発体制



こんな企業におすすめ

デザインの知見がある人がいない

MVPでリリースする機能数が多い

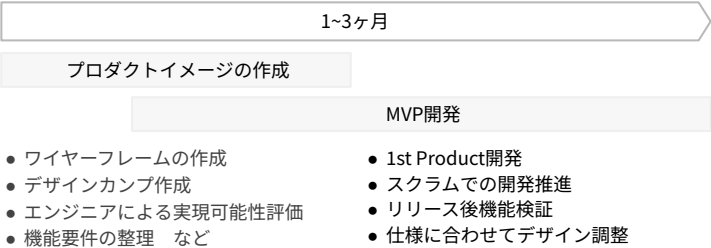
エンジニアを補強し開発スピードを上げたい

②デザイン + エンジニアリング(日本側エンジニアで初期開発を進める)

プロジェクト概要

注文住宅の複雑な業務をクラウドで管理し、工務店のサービスレベル向上を手助けするサービスのデザイン、開発をご支援。
クライアントサイドに開発実装できるエンジニアがいないことから、アジャイル／スクラムをリードしてくれるパートナーと共創したいということでSun*がジョイン。クライアント側からプロダクトオーナーやQAがスクラムの開発チームに参画することで、スピーディーに開発が進んだ。

取り組んだ内容と期間



実際の開発体制



こんな企業におすすめ

デザインの知見がある人がいない

データ連携など、実装難易度の高い機能が多い

日本特有の文化背景の理解が必要なサービス

③デザイン

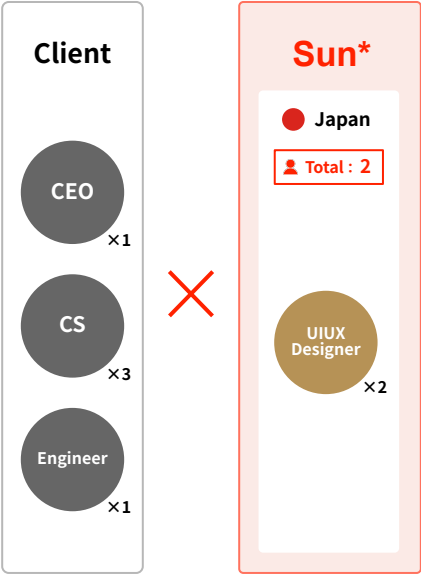
プロジェクト概要

タレントマネジメントシステムの初期プロダクトリリースに向けた、プロダクトの体験設計とデザインカンパ作成をご支援。
PoCフェーズではノーコードツールで実装したアプリケーションを使用。価値検証やユーザーのリアルな声が拾えたことから、サービスが提供したい理想の状態を定義した上で、MVPとして必須の主要機能を定義し、デザインを作成。

取り組んだ内容と期間

1ヶ月目	2-3ヶ月目	3-4ヶ月目
ユーザー課題の整理、体験設計	ワイヤーフレーム作成、価値検証	デザインカンパの作成
- ユーザーインタビューの実施 - ペルソナごとに課題の整理 - 主要業務、外部サイトでの業務内容の整理 - ノーコードツール上の機能確認 - ユースケースごとに体験設計	- 画面遷移図の作成 - 画面、機能一覧の洗い出し - ワイヤーフレームの作成 - ユーザー課題の解決になっているか、ワイヤーフレームを活用した仮説検証の実施	- サービスのデザインコンセプト、デザインガイドラインの作成 - ワイヤーフレームを元に、デザインカンパの作成 - 仕様に合わせてデザイン調整

実際の開発体制



こんな企業におすすめ

ユーザーに提供したい価値は見えているが
価値をプロダクト内の体験に落とし込める人がいない

デザインの知見・経験が
ある人がいない

デザインデータを元に
エンジニアと開発を進めたい

5. 開発事例

DX推進、新規事業開発支援事例：日本音楽著作権協会（JASRAC）

著作権管理をDX化し音楽クリエイターがCreation Ecosystemに参画できる世界へ

ブロックチェーン技術を活用した 楽曲管理システム KENDRIX

日本音楽著作権協会(JASRAC)による改竄不可能なブロックチェーン技術を活用した存在 証明機能付き楽曲管理サービスをSun*で開発支援しました。音楽業界では楽曲制作から広報、マーケティングまでを個人で完結して行うDIYクリエイターが増えています。そして彼らは自身で著作物を守り、著作権利用料を徴収するために、著作権への理解が必要で、高いハードルとなっていました。KENDRIXはこの課題に対し、著作権の理解がなくても自身の楽曲を守り、著作権利用料を受け取れる仕組みとして誕生しました。

要件定義・仕様策定

UI/UXデザイン

設計

開発実装

インフラ構築

団体・連合会

音楽業界

知財

ISSUE クライアントの課題

1. ブロックチェーンを用いたサービス開発の実績と知見のあるパートナーと伴走したい
2. サービスアイデアを具現化するために仕様や設計書作成から支援してほしい
3. ユーザーの声が反映されたサービスにしたい
4. リリース後も機能拡張や継続的な支援をして欲しい

SOLUTION 課題に対するSun*の対応

1. ブロックチェーンに精通したメンバーをアドバイザーとしてアサインし最大14人の開発体制で伴走
2. ペルソナと課題の設定、問いのデザインを通じ顧客とソリューションの解像度を上げ仕様を策定
3. ユーザーインタビューやPoC、MVPによる実証実験のプロセスから得たニーズをサービスに反映
4. リリース後も柔軟に体制を変更し追加の機能開発やサービス拡大に向けて継続的に支援



DX推進、新規事業開発支援事例:遠藤紙店

昭和8年創業の老舗壁紙商社によるポストコロナ時代の事業再構築の挑戦

サプライヤー目線ではないユーザーを中心としたサービス開発の共創

インテリア材料の専門商社として壁紙などの卸販売をされてきた遠藤紙店。新型コロナウイルスによる時代変化への対応、また業界の旧態依然のユーザーへの提案方法やビジネスモデルの変容を狙い、壁紙購入における顧客価値を高めるために経産省の事業再構築補助金を活用したDX推進を検討、Sun*にご相談いただきました。Sun*では計画時より伴走し、予算獲得からユーザー調査、サービスコンセプトの再設計、MVPを経て、遠藤紙店が運営するECメディアサイト wallpaperstore.jp への開発実装までをビジネス(B) × テクノロジー(T) × クリエイティブ(C)のエキスパートとともに一気通貫で支援しました。

サービスデザイン

UI/UXデザイン

仕様書・要件定義作成

開発・実装(Shopify)

ISSUE クライアントの課題

1. プロダクト起点やサプライヤー目線でないユーザー中心のサービスにしたい
2. アプリ開発だけでなく、サービス企画や設計から共創できるパートナーと伴走したい
3. ARなどを使って壁紙を変えた後のイメージができる新しい壁紙体験を実現したい
4. 地域地方の中小企業はベンダー選定のリソースが十分でなく本機能を実装するのが難しい

SOLUTION 課題に対するSun*の対応

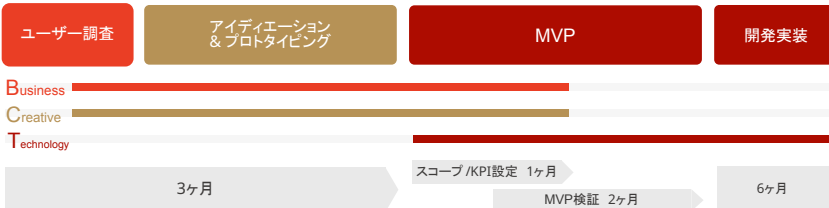
1. UXデザイナーのファシリテーションでユーザーリサーチやペルソナの再設計を提案
2. プロトタイプ、MVPにおいてユーザーインタビューを行い、そこで得られた声を機能として反映
3. ユーザーがイメージしやすいように汎用的な部屋で、床と壁紙のディティールを再現する機能を提案
4. Sun*側で既存のShopifyのECサイトにカスタム実装し、会員機能とも連携



本プロダクト開発のステップ



Sun*が提供したソリューションと開発期間

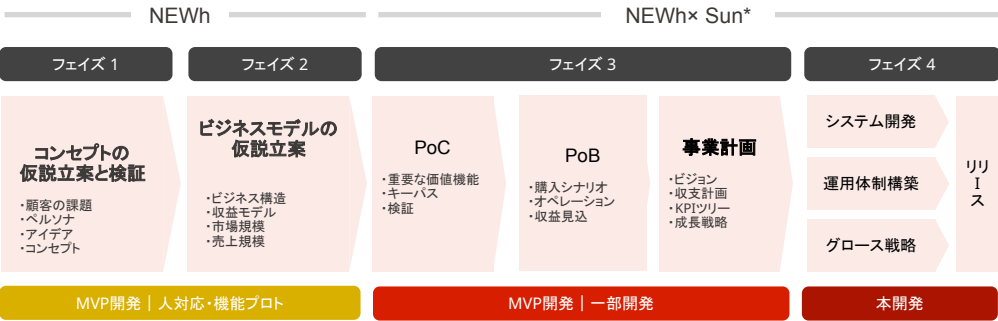


DX推進、新規事業開発支援事例：日本ネットワークイネイブラー株式会社

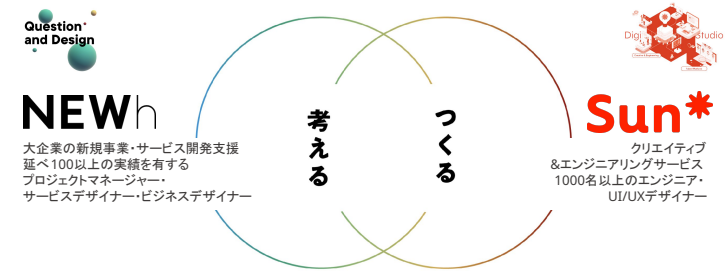
法人様向けオンライン型パーソナルフィットネスサービスの立ち上げをゼロから支援

働く人の日々の運動習慣を構築し
パフォーマンスを向上させるFitYou

ISPへのローミング事業を展開する日本ネットワークイネイブラー社。同社がはじめて手掛けた新規事業「FitYou」は、ひとりひとりにあったフィットネスメニュー、パーソナルトレーニングをオンラインで提供する法人向けの新しい福利厚生サービスです。事業アイデアがゼロの段階からNEWhがパートナーとして参画し、事業の仮説・検証、事業計画の設計、ビジネススキームの構築、そしてプロダクト/デザイン開発に至るまであるゆる面で、担当者様と共に考え、共に戦う共創型で支援。NEWhの新規事業創出のノウハウ、フレームワークを活用しながら、開発面では、経験豊富なSun*のCTOsや開発チームが一気通貫で支援させていただいております。



グループ会社としてのシナジー効果



6. 会社紹介

会社概要

社名 株式会社Sun Asterisk
英語社名 Sun* Inc.

設立日 2013年3月1日

従業員数 約2,080名
グループ全体

関連会社 Sun Asterisk : 370+
Sun Asterisk Vietnam : 1,425+
Sun Asterisk Software Development : 50+
Sun terras : 95+
NEWh : 20+
Trys : 110+
2024年4月末時点

本社所在地 東京都千代田区大手町

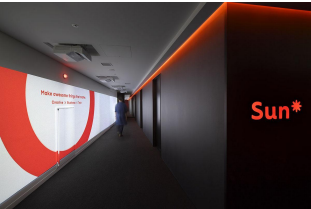
事業内容 デジタル・クリエイティブスタジオ事業
4ヶ国6都市に拠点※

資本金等 33億9,419万円
資本準備金含む

売上 125.1億円
2023年12月期実績

上場区分 東京証券取引所 プライム市場
証券コード：4053

※日本（東京）ベトナム（ハノイ、ダナン、ホーチミン）＋パートナー拠点 フィリピン（セブ）、カンボジア（プノンペン）





MAKE AWESOME THINGS THAT MATTER

Our Vision

誰もが価値創造に 夢中になれる世界

Create a world where everyone has the freedom
to make awesome things that matter.

社名に含まれる「Sun」はまさに「太陽」。地球上のすべての生命を育むインフラです。革新的なサービスや、新しいイノベーションの「種」を、私たちの光で照らし、それらを育む最強のインフラになることを目指しています。

Sun*が価値創造するためのインフラとなることで、全人類が生まれた時から持っているクリエイティブへの情熱を呼び起こし「誰もが価値創造に夢中になれる世界」を実現させます。

Our Mission

本気で課題に挑む人たちと事業を通して社会に ポジティブなアップデートを仕掛けていくこと

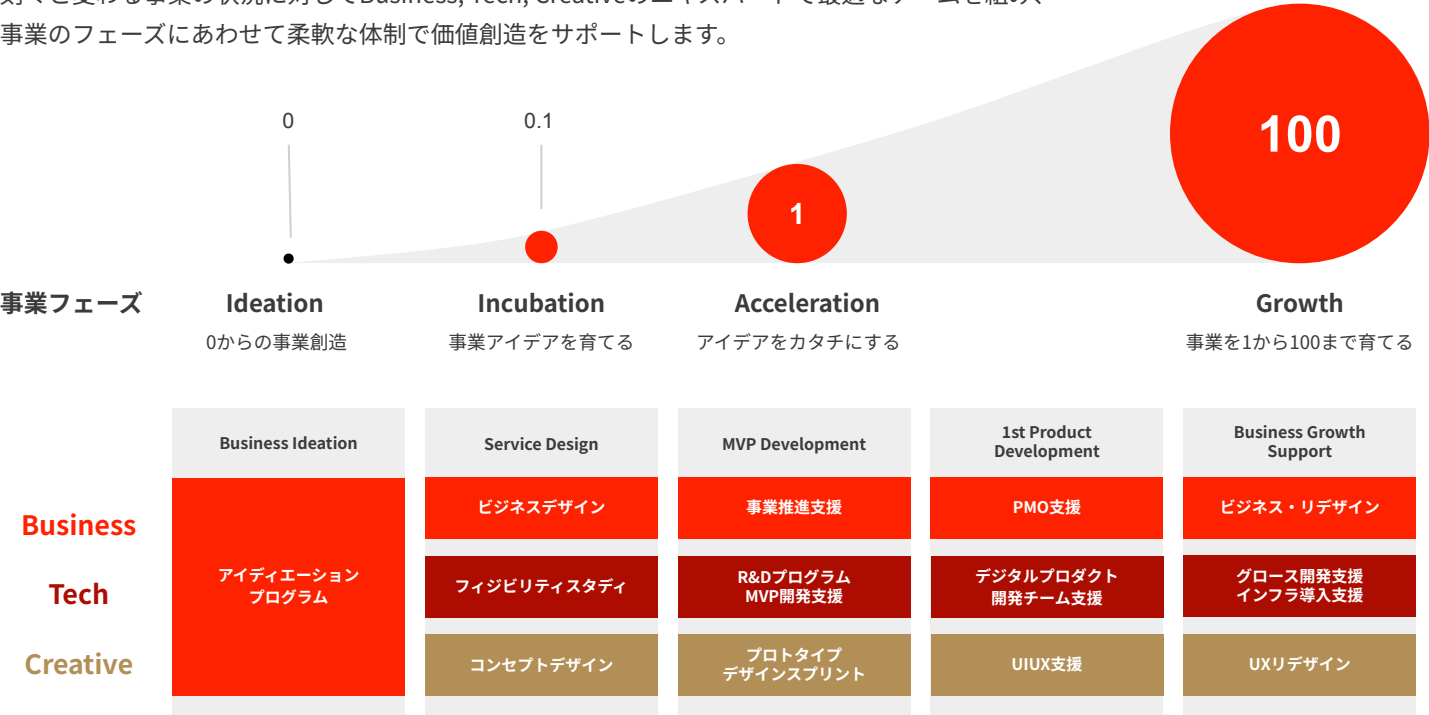
Create radical products and businesses with
people who actually care about what they do.

* (Asterisk) は、多くのプログラミング言語で掛け算を表す記号です。

スタートアップや大企業の垣根を超え、価値創造に最適なチームを編成し、本気で社会課題に挑むヒト・モノ・コトとのコラボレーションを通じて、様々な産業のデジタルイノベーションを促進することで、社会にポジティブなアップデートを仕掛けていきます。

あらゆる事業の、あらゆるフェーズを伴奏するチーム

あらゆる事業創造を0から100のフェーズまで伴走しながら支援します。
刻々と変わる事業の状況に対してBusiness, Tech, Creativeのエキスパートで最適なチームを組み、
事業のフェーズにあわせて柔軟な体制で価値創造をサポートします。



Growth Team Support

Sun*では自立自走しながら事業推進するチームを育てるための支援も行っています。

- CTO s
- xseeds Hub
- 採用支援・RPO
- DX人材育成プログラム

Business, Technology , Creative, 3つの視点によるクライアントとの事業共創

多様なバックグラウンドを持つプロフェSSIONナルが多数在籍

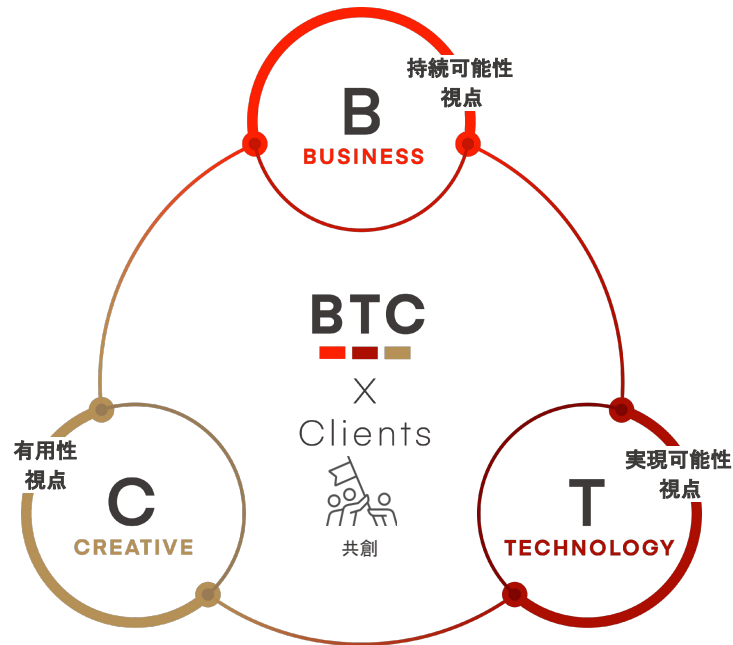


ビジネスコンサルタント	事業開発ディレクター	ビジネスデザイナー
UI/UX デザイナー	UIプランナー	アートディレクター
CTO	プロジェクトマネージャー	フルスタックエンジニア

豊富な実績から蓄積された事業創造に必要な手法・ノウハウ



デザイン思考	リーンスタートアップ	ユーザー中心設計
アジャイル	DevOps	CI/CD
AI	Blockchain	NFT



大規模な開発組織

開発に携わるメンバー

1,200名以上

主な活動拠点

- 日本
- ベトナム
- フィリピン

エンジニア 1,000名+ (日本120名、ベトナム1,000名、フィリピン50名)

BrSE
(Bridge Software Engineer)

Frontend
Engineer

Server-side
Engineer

NativeApp
Engineer

QA

Infrastructure
Engineer

CTOs

Fullstack
Engineer

PM (Project Management)

100名+

R&D 50名+

Cyber Security

Data Science

AI

DevOps and
Site Reliability
Engineering

デザイナー 100名+ (日本70名、ベトナム20名)

サービス
デザイン

ブランド構築

Web
マーケティング

グラフィック
デザイン

Webデザイン・制作
(LP・バナー制作)

UI/UX
デザイン

2024年4月末時点



Thank you!